

2017年度 決算説明資料 (IFRS)

2018年2月14日

大塚ホールディングス株式会社

見通しに関する注意事項

- 本資料には、当社及び当社のグループ会社（以下当社と併せて「当社グループ」という）の財務状況、経営成績、事業等に関する将来予想の記述が含まれております。かかる将来予想は、その性質上、発生の可能性が不確定な将来の事由や環境等に左右されることから、当該記述には、リスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の財務状況、経営成績、事業等が、かかる将来予想と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知願います。
- 新しい情報、将来の出来事又はその他の事由により、将来予想の記述に関し、更新又は修正が望ましい場合であっても当社は、それらを行う意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、これらを保証するものではありません。
- 本資料に述べられたIQVIA、Euromonitor他（以下「情報機関」と総称する）のレポートは、情報機関の購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオン又は視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。情報機関の各レポートは、レポート発行時点における見解であり、本資料作成時点のものではありません。また、情報機関のレポートで述べられた意見は、情報機関により、事前の予告なしに変更されることがあります。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

- 1 2017年度 通期連結業績の概要
- 2 2017年度 通期営業利益（2017年11月見込 vs 実績）
- 3 事業別の売上高・営業利益
- 4 医療関連事業の状況
- 5 新製品群の売上推移
- 6 NC関連事業の状況
- 7 2018年度 連結業績の見通し

① 2017年度 通期連結業績の概要

■ 医療関連事業は成長軌道に乗り、NC事業は安定的な収益貢献できる事業となり、増収増益を達成

- ・ グローバル&国内の新製品群は、引き続き力強く成長し、期首計画を達成
- ・ NCは、海外の持続的成長により、セグメント営業利益率12%と引き続き10%以上を達成

■ 減損前営業利益は、期首計画を130億円超える1,330億円を達成

■ R&Dは、確実な成長軌道の実現に向けた積極的な投資を実施し、ほぼ期首計画通り

(単位：億円)	2016年度 実績	2017年度 実績	対前期増減	2017年度 期首通期見込	達成率 (%)
売上高	11,955	12,400	+444	12,600	98.4%
(内、グローバル&国内新製品群)	2,713	3,424	+711	3,380	101.3%
(内、エビリアイ)	954	673	▲281	660	100.9%
減損前営業利益	1,337	1,330	▲7	1,200	110.9%
控除：減損損失処理額 (SGA + R&D)	326	288	▲37		
減損後営業利益	1,011	1,042	+30	1,200	86.8%
(内、持分法による投資利益)	160	193	+33		
法人所得税費用	233	▲107	▲340		
親会社株主に帰属する当期純利益	926	1,125	+199	850	132.3%
研究開発費*	1,688	1,756	+67	1,800	97.5%
(内、研究開発に係る無形資産の減損損失)	162	16	▲146		

【為替変動による業績への影響額】

売上高	約+160億円
営業利益	約+5億円

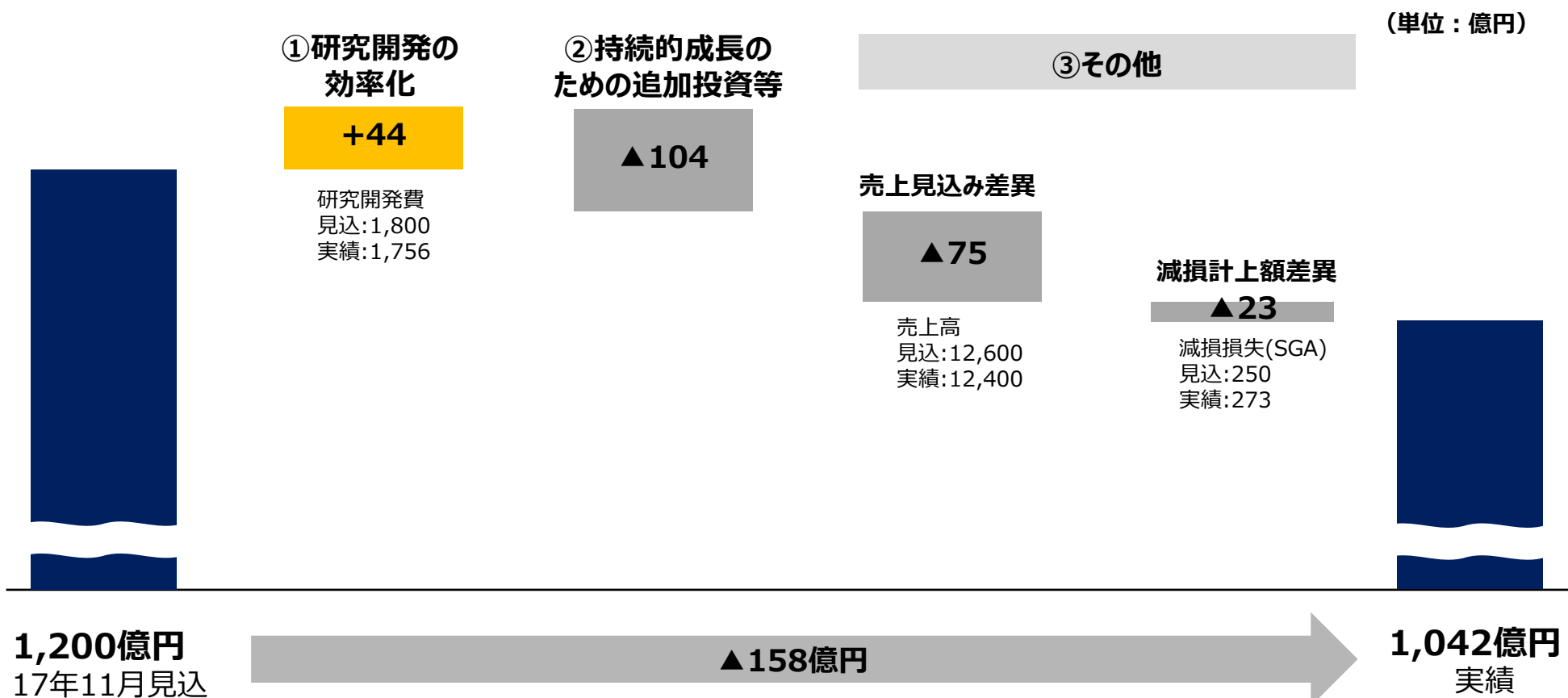
平均レート	2016年度	2017年度
1米ドル	108.77円	112.16円
1ユーロ	120.25円	126.69円

*研究開発費には、研究開発に係る無形資産の減損損失を含む

② 2017年度 通期営業利益 (2017年11月見込 vs 実績)

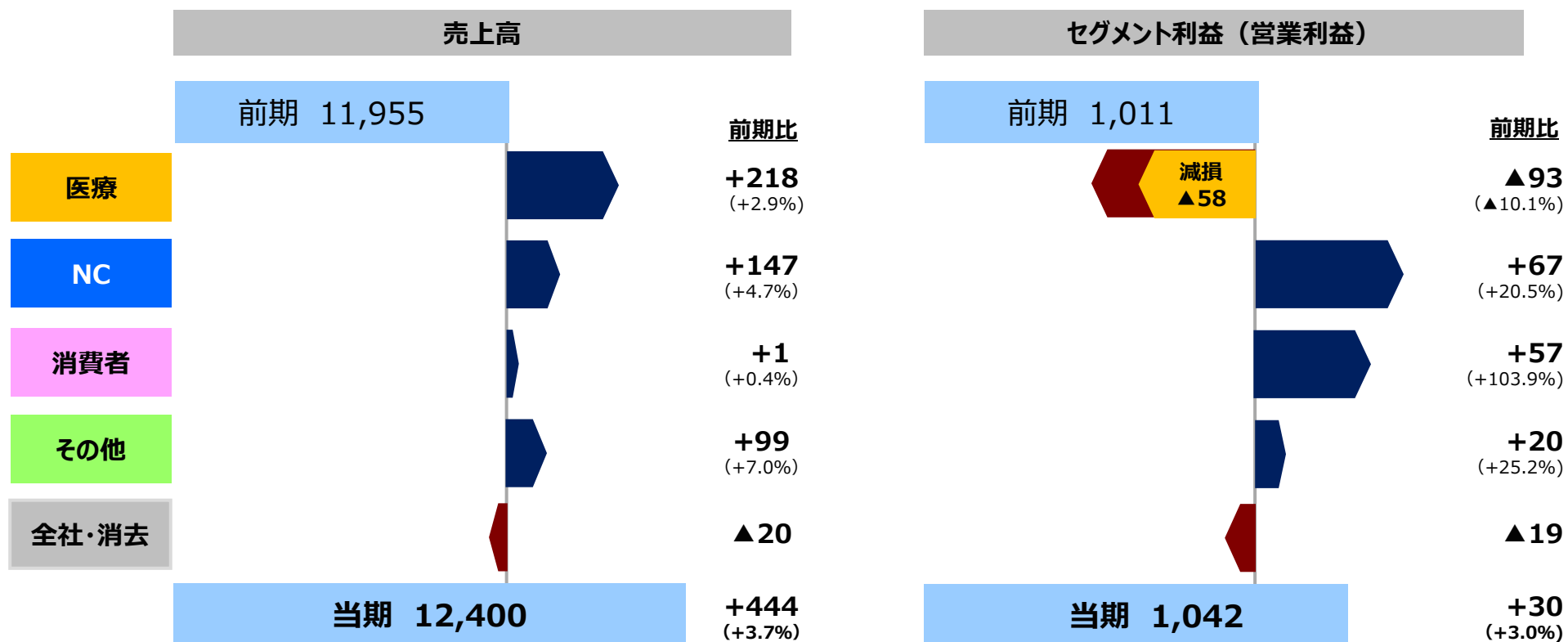
第4四半期において

- ① **研究開発の効率化**：研究開発投資のコスト最適化
- ② **持続的成長のための追加投資等**：2018年度以降の持続的成長の実現のため、積極的に実施
- ③ **その他**：売上見込み差異、減損計上額差異



③ 事業別の売上高・営業利益

※カッコ内は増減率(単位：億円)

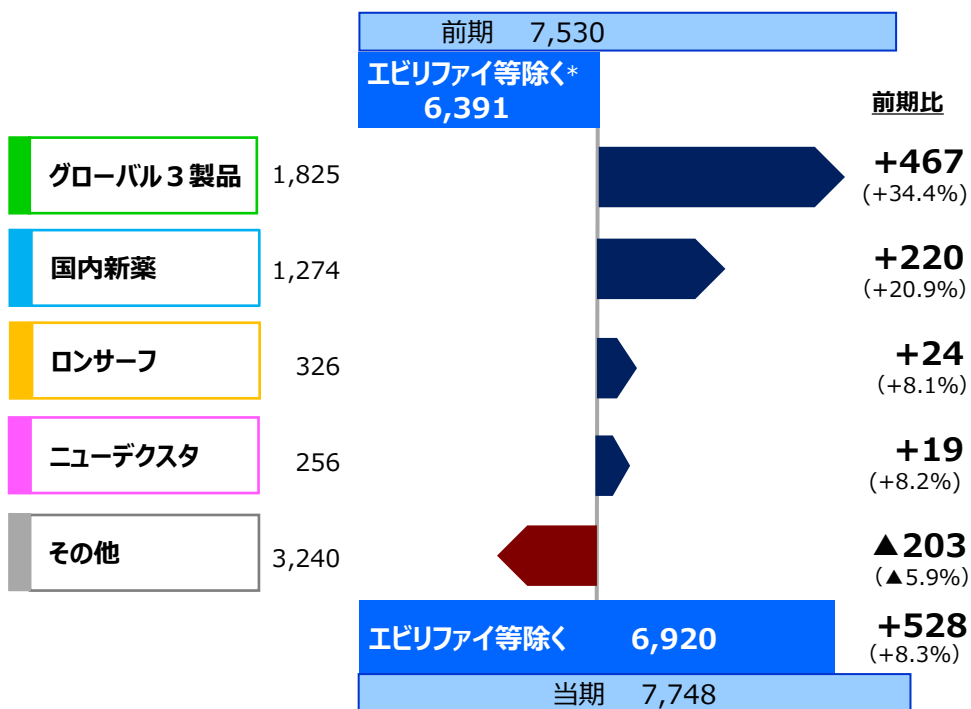


	売上高		営業利益		営業利益率 (%)		持分法投資利益		減損損失(SGA+R&D)	
	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期
医療	7,530	7,748	920	827	12.2%	10.7%	18	31	211	268
NC	3,116	3,262	325	392	10.4%	12.0%	5	6	60	17
消費者	355	356	55	111	15.4%	31.2%	115	133	46	3
その他	1,413	1,511	78	97	5.5%	6.4%	21	24	9	1
全社・消去	(457)	(478)	(366)	(385)	-	-	-	-	0	0
連結	11,955	12,400	1,011	1,042	8.5%	8.4%	160	193	326	288

④ 医療関連事業の状況

(単位：億円)

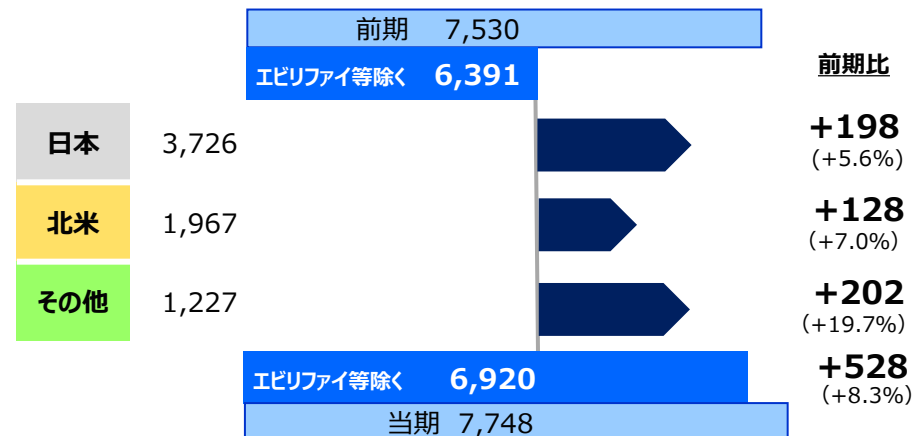
売上高



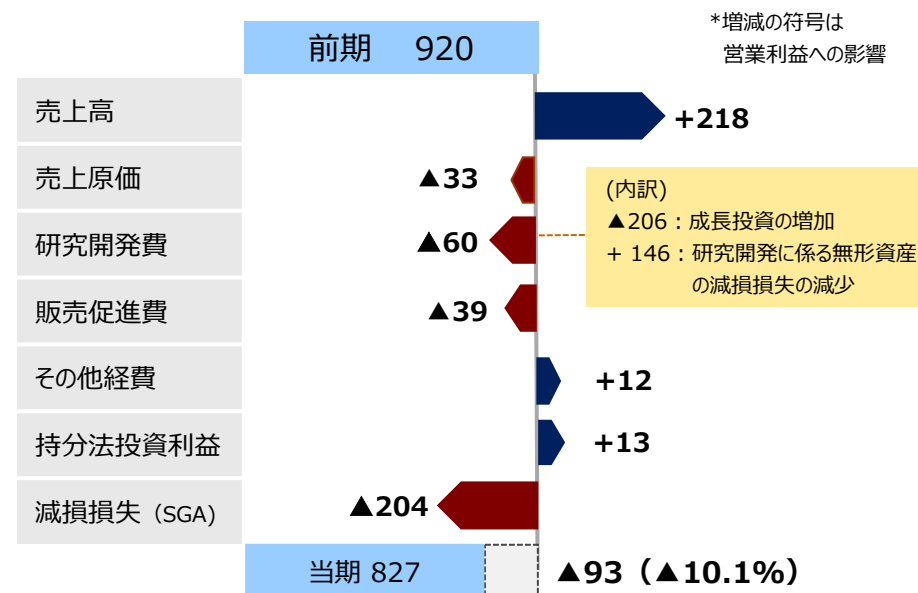
品目	前期	当期	増減額	増減率
エビリアイ	954	673	▲281	▲29.4%
契約一時金等	185	155	▲30	▲16.3%
エビリアイメンテナ	572	709	+138	+24.1%
サムスカ/ジンアーク	489	642	+154	+31.4%
レキサルティ	298	473	+175	+58.8%
国内新薬	1,054	1,274	+220	+20.9%
ロンサーフ	301	326	+24	+8.1%
ニューデクスタ	236	256	+19	+8.2%
その他	3,442	3,240	▲202	▲5.9%
(内、プレタール・ムコスタ)	361	323	▲38	▲10.5%
エビリアイ等除く	6,391	6,920	+528	+8.3%
医療計	7,530	7,748	+218	+2.9%

*「エビリアイ等除く」は、売上高からエビリアイ及び特殊要因（契約一時金・マイルストーン）を除いた金額であることを表しています。

市場別売上高



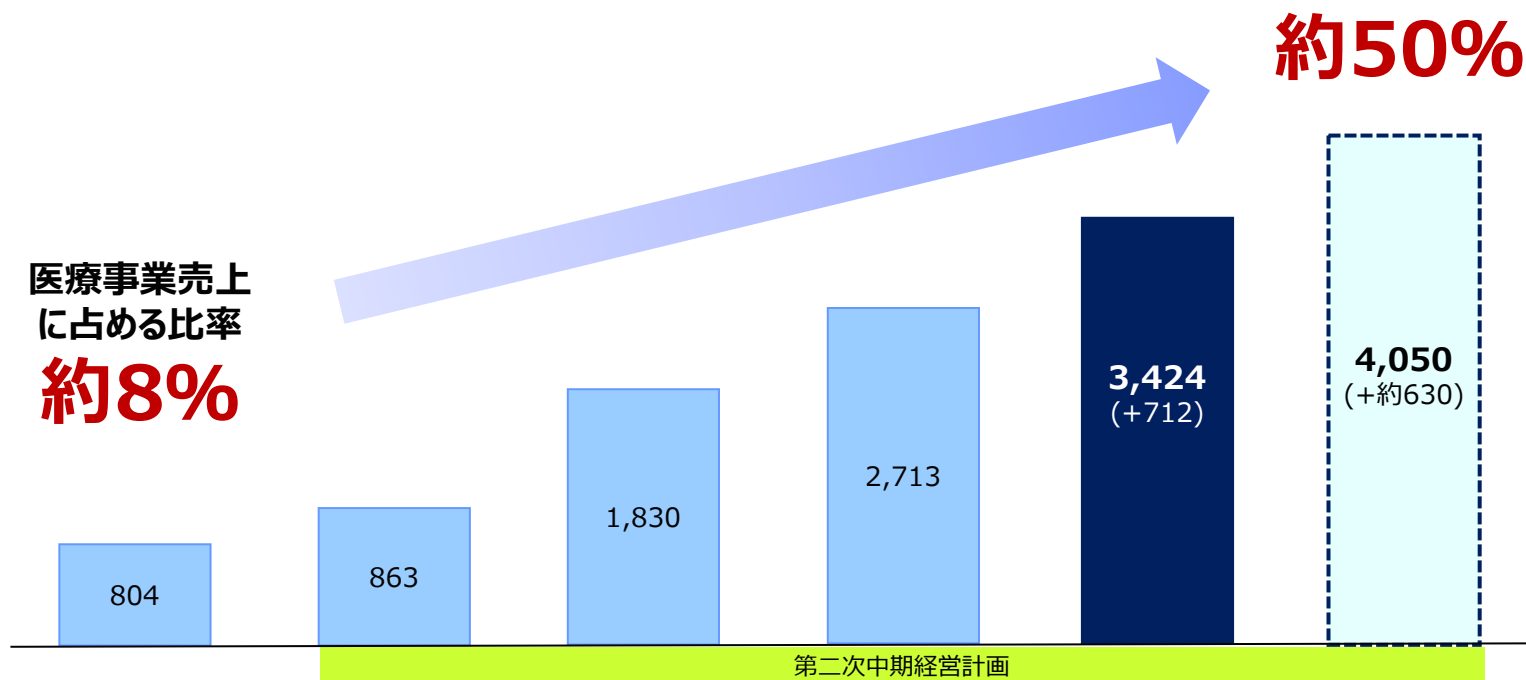
セグメント利益（営業利益）



⑤ 新製品群の通期売上推移

(単位：億円)

収益構造の多様化が加速し、中期計画達成に向けた取り組みが着実に進展



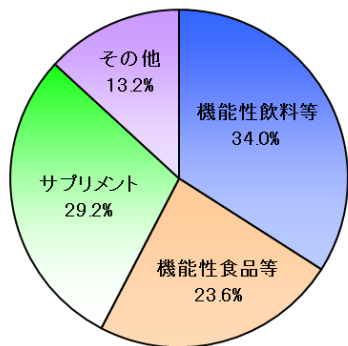
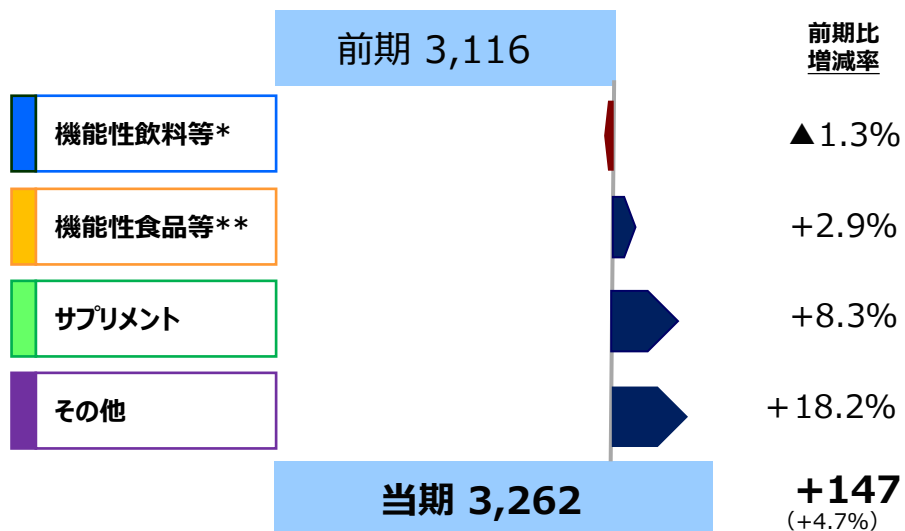
	2013年度	2014年度 (9ヶ月)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (見込)
エビリファイメンテナ	43	144	404	572	709	870
サムスカ/ジンアーク	210	208	416	489	642	810
レキサルティ	-	-	46	298	473	645
ロンサーフ	-	23	94	301	326	340
国内新薬	551	488	870	1,054	1,274	1,385
合計	804	863	1,830	2,713	3,424	4,050
医療事業売上に占める比率	約8%	約10%	約19%	約36%	約44%	約50%

*2013年度～2014年度は、日本基準ベース

⑥ NC関連事業の状況

(単位：億円)

売上高



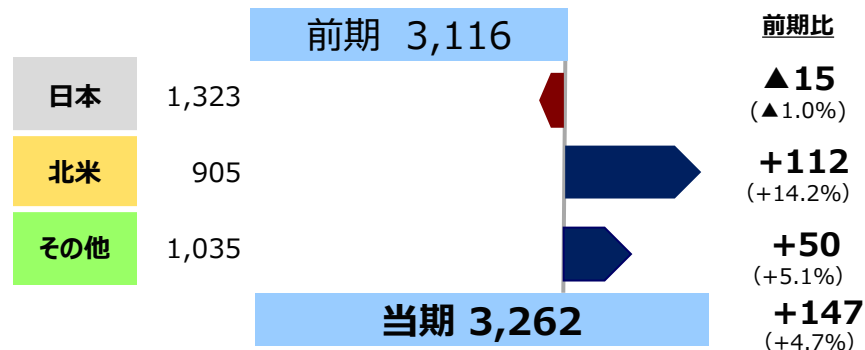
***機能性飲料等**
ポカリスエット、オロナミンC、チオピタ、ファイブミニの4品目



****機能性食品等**
N&S社製品、カロリーメイト、ソイジョイ

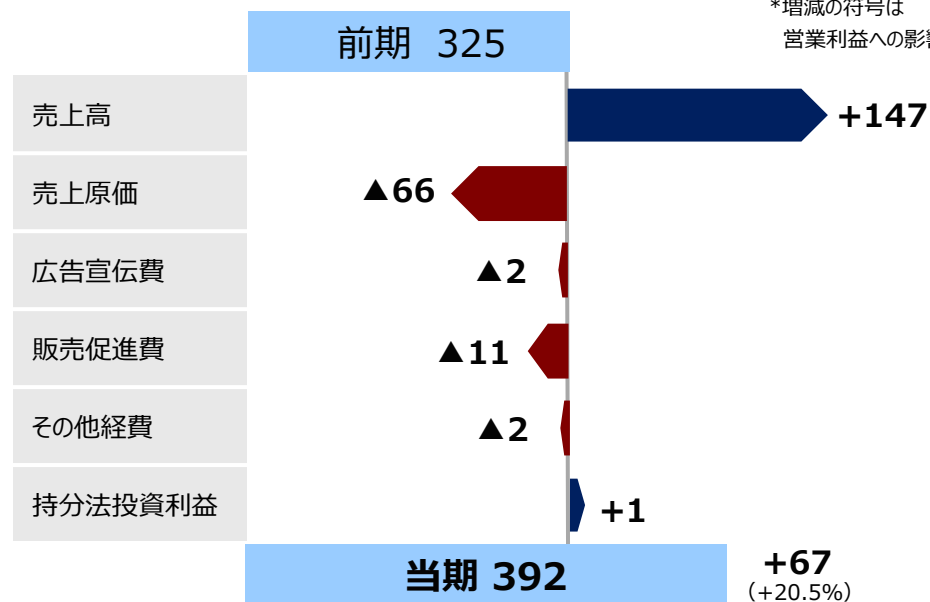


市場別売上高



セグメント利益（営業利益）

*増減の符号は
営業利益への影響



⑦ 2018年度 連結業績の見通し

(単位：億円)	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減額	増減率 (%)
売上高	12,400	13,000	+600	+5%
営業利益	1,042	1,400	+358	+34%
法人所得税費用	▲107	300	+407	-
親会社所有に帰属する当期純利益	1,125	1,050	▲75	▲7%
研究開発費	1,756	1,900	+144	+8%
1株当たり配当金	100.0円	100.0円	-	-

営業利益 + 研究開発費	2,797	3,300	+503	+18%
減損控除前の営業利益 + 研究開発費	3,070	3,300	+230	+7%

【参考】 通貨	為替レート		2018年度：為替レート1円 円安による影響額	
	2017年度	2018年度(想定)	売上高	営業利益
1米ドル	112.16円	110.0円	約35億円	-
1ユーロ	126.69円	130.0円	約9億円	-